

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2322
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
事業名	72100		道路橋りょう管理事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		51,713	75,414	23,701	55,467	融雪ブロック、融雪剤自動散布装置等の管理経費の増	55,467	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	113		△ 113				
	県支出金		105	105	96		96	
	起債			0				
	その他	45,840	45,507	△ 333	45,541		45,541	
一般財源	5,760	29,802	24,042	9,830	9,830			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
道路・橋りょう施設など良好な状態で利用できるよう維持管理			
事業実施の課題			
特に除雪機の老朽化に伴い、それに係る消耗品や修繕費が増加傾向にある			
事業概要			
道路橋りょう施設等の維持管理 ・除雪機修繕等 ・道路橋りょう等施設の保守点検			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
道路橋りょう等の維持管理の円滑化			
要求額増減理由			
<ul style="list-style-type: none"> 除雪機や施設などの老朽化による修繕費の増額 除雪機のタイヤやチェーンなど長期間にわたり使用しているため、摩耗が激しいことによる比較的高額な消耗品の予算計上 知らせる明かりや融雪ブロックの箇所数増に伴う電気使用料の増額 作業用ダンプトラックの老朽化に伴い、リース車両への更新 			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2322
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
事業名	72110		道路台帳管理費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	16,000	20,000	4,000	16,000	H21実績、H22の事業量見込により、積算内容を精査	16,000	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他		50	50				
一般財源	16,000	19,950	3,950	16,000		16,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
道路法に基づく道路台帳の整備			
事業実施の課題			
現状、道路台帳の管理は各支所ごとに異なるシステムで行っているが、将来的には統一する必要がある			
事業概要			
道路台帳の加除委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
更新・変更路線数（路線）	160	180	200
成果			
台帳整備による適切な市道管理、事業者等への情報提供			
要求額増減理由			
対象路線の増加			

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
(3)道路・交通		
(1)便利で快適な道路環境を整備する		
②生活に身近な道路の整備		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
(3)道路・交通		
ソフト		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2326
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りよう費	目	2	道路橋りよう維持費
事業名	72200		道路橋りよう維持修繕費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		433,000	433,000	0	439,500	H22年9月補正、12月補正にて事業前倒し実施しているが、引き続き景気対策のため、前年度当初予算額を確保道路舗装全面改良のみ設計委託料を計上	439,500	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	165,000	207,350	42,350	165,000		165,000	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	6,000	12,300	6,300	6,000		6,000	
一般財源	262,000	213,350	△ 48,650	268,500	268,500			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
道路施設の維持修繕を実施することにより、道路の走行性及び安全性の向上を図り、快適で安心な道路網を確立する			
事業実施の課題			
生活道路のため、路面や側溝の安全に関する町内要望等が年々増加している。中長期的な視点でのコスト縮減や効率的な維持管理方法、道路修繕整備基準の確立。			
事業概要			
側溝、舗装、橋梁等の道路施設の経常的な維持修繕を実施する。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
道路施設修繕工事(箇所)	281	188	180
成果			
道路施設の維持管理を実施することにより、走行性・安全性を確保することができる			
要求額増減理由			
生活道路の路面や側溝の安全に関する町内要望、ニーズの増加			

①総合計画		
(2「すみよさ」のあるまちをめざして		
3 道路・交通		
1 便利で快適な道路環境を整備する		
2 生活に身近な道路の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
3 道路・交通		
ハード		
地域生活道路再生整備事業、道路舗装事業(維持修繕含む)、側溝改良事業(維持修繕含む)		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		
6 市民の生活と生命・財産を守ります		
支所地域と市街地を結ぶ主要道路や都市計画道路の整備を進めます		

事業別予算概要

一般会計

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費
事業名	72205		道路清掃業務委託費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	3,000	3,000	0	3,000	要求どおり 前年度と同額	3,000	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金			0					
県支出金			0					
起債			0					
その他			0					
一般財源	3,000	3,000	0	3,000		3,000		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
道路通行車両の安全確保及び観光地の景観保全を図る			
事業実施の課題			
事業概要			
草刈りや道路清掃の実施 L=約40km			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
市道路側清掃延長(km)	45	40	40
市道路側清掃処理量(t)	42	40	40
成果			
要求額増減理由			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト 成果	
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線2323
-------	----------	--------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	4	交通安全対策費
事業名	72400		交通安全施設整備					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	32,000	56,011	24,011	32,000	H22年9月補正にて、事業前倒しを実施 当初予算額は、実施計画額にて 一部事業を道路新設改良へ組替	32,000	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金	10,000		△ 10,000					
県支出金			0					
起債			0					
その他	29	25	△ 4	29		29		
一般財源	21,971	55,986	34,015	31,971	31,971			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
交差点等、交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し、事故防止を図る			
事業実施の課題			
コスト削減を図るため資材の再利用や新しい製品の採用等の検討を行う			
事業概要			
道路反射鏡・ガードレール・転落防止柵・道路照明・道路区画線等の新設・修繕・改修			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
防護柵設置(m)	1,164	400	1,350
道路反射鏡設置(基)	28	30	20
区画線設置(m)	59,350	12,000	23,000
道路照明設置(基)	37	2	23
成果			
道路反射鏡や防護柵等の設置により、交通事故発生箇所の改善や危険箇所の解消			
要求額増減理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・現況の道路照明(ナトリウム灯、水銀灯)の老朽化に合わせてLED灯に交換し、電気料の低減を行う ・JR踏切において早期に事前協議などを進めるための委託業務を計上 			

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
9安全		
1日常生活における安全を確保する		
3交通安全対策の充実		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
9安全		
1日常生活における安全を確保する		
3交通安全対策の充実		
③事業評価		
事業名	交通安全施設整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	今後の方向性 町内要望により設置した施設等については、地域ぐるみで安全を確保するという観点から、維持修繕に対し協力を求めるなど市民との協働による施設管理を行っていく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中 成果 中	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
6. 市民の生活と命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線2322
-------	----------	--------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	4	交通安全対策費
事業名	72403		バリアフリー対策事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	180,000	150,000	△ 30,000	183,000	H22年9月補正にて事業を前倒し実施 当初予算額は、前年度当初予算額を確保 支所地域においてバリアフリー対策を実施	183,000	財務部査定どおり
財源内訳						84,150	
国庫支出金	99,000	77,000	△ 22,000	84,150			
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	81,000	73,000	△ 8,000	98,850		98,850	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
・誰もが安全で安心して快適に暮らせる環境づくりに向け、ユニバーサルデザインの観点から、道路施設について、バリアフリー化整備と歩行者移動支援施設整備を実施する			
事業実施の課題			
・支所地域を含む市全域での計画策定を検討する必要がある			
事業概要			
・道路施設バリアフリー化整備(既設側溝改修・蓋設置並びに路肩部のカラー化舗装、歩道段差解消、グレーチング細目化)			
・歩行者移動支援施設整備(融雪ブロック+知らせるあかり、知らせる明かりソーラー)			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
道路施設バリアフリー化整備延長(m)	653	940	550
歩行者移動支援施設整備(箇所)	27	24	20
成果			
・高齢者や児童・生徒、障がい者をはじめ、全ての歩行者並びに道路利用者に対して安心・安全な通行が確保できる。			
要求額増減理由			
道路施設バリアフリー整備5ヶ年計画による施工延長の減			

①総合計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
道路・交通		
(1)便利で快適な道路環境を整備する		
②生活に身近な道路の整備		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
道路・交通		
ハード		
道路施設バリアフリー整備事業		
③事業評価		
事業名	道路施設バリアフリー整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅱ	本事業等により、バリアフリーの先進地として本市は高い評価を受けている。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要 今後も市民などの声を聞きながら整備をすすめるとともに、コスト縮減にも努める必要がある。	
④市長の約束		
6. 市民の生活と命・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2323
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	4	交通安全対策費
事業名	72440		臨時駐車場対策事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方	
歳出	21,413	25,452	4,039	21,270	積算内容を精査 例年の事業規模とする。	21,270	財務部査定どおり	
財源内訳								
国庫支出金		13,998	13,998					
県支出金			0					
起債			0					
その他			0					
一般財源	21,413	11,454	△ 9,959	21,270		21,270		

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
市民及び観光客等の道路利用者のため、高山祭りやゴールデンウィーク等の特定日に臨時駐車場の開設を行ない市中心部の渋滞を緩和する			
事業実施の課題			
<ul style="list-style-type: none"> 交通誘導業務の人員配置やシャトルバスの配車数等を見直し、費用軽減に努める 例年と異なる行事・イベント開催の可能性があり、緊急対応しなければならない場合もある 			
事業概要			
観光繁忙期における交通整理員の配置 特に混雑が著しい春・秋の高山祭、GW、お盆の臨時駐車場の開設			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
臨時駐車場開設日数(日)	7	6	9
成果			
市中心部の円滑な交通の確保			
要求額増減理由			
<ul style="list-style-type: none"> 例年の行事(春・秋の高山祭・GW・お盆)に加え、各種行事の開催予定があることによる増額 市内の渋滞緩和、安全確保など更なる効果発現を図る 			

①総合計画		
3 「すみよさ」のあるまちづくり		
3 道路・交通		
1 便利で快適な道路環境を整備する		
4 道路利用環境の向上		
②実施計画・中期財政計画		
3 「すみよさ」のあるまちづくり		
3 道路・交通		
1 便利で快適な道路環境を整備する		
4 道路利用環境の向上		
③事業評価		
事業名	臨時駐車場対策事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	年間400万人以上の観光客が訪れる本市にとっては駐車場の確保は重要な課題である。観光シーズンの需要に応じた駐車場の確保は不可能であり、臨時駐車場に対応することは費用対効果において最も有効である。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要 今後は駐車場案内の強化により、市中心部の渋滞を緩和を図るとともに、大型バスの乗り入れ規制などについても検討が必要である。	
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2322
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	4	交通安全対策費
事業名	72450		交通安全対策事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		2,262	2,656	394	2,312	積算内容を精査 県から移管された交差点照明灯の経費を増	2,312	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	1,100		△ 1,100				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,162	2,656	1,494	2,312		2,312	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
交通安全対策、バリアフリー対策に関わる施設等の適正な維持管理を行い、交通安全の確保や事故防止を図る			
事業実施の課題			
交通安全対策、バリアフリー対策事業整備済路線の経年劣化に伴い、保守点検や維持管理費の増加			
事業概要			
交通安全設備(照明、点滅板など)や市営駐車場案内電気表示施設の維持管理			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
交通安全の確保やバリアフリー対策事業を有効に活用できるよう維持管理を行い、当事業を側面から支える			
要求額増減理由			
・道路照明や点滅板の増加に伴う電気使用料の増額			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	5	除雪対策費
事業名	72500		除雪対策事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		477,000	483,777	6,777	440,000	除雪費委託料は前年同額 流雪側溝工事は5ヵ年計画による 融雪剤自動散布装置を3カ所設置 除雪機補助は、実績により減	440,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	6,050	29,260	23,210	14,850		14,850	
	県支出金	24,450	4,000	△ 20,450	3,000		3,000	
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	446,500	450,517	4,017	422,150		422,150	

以下は予算要求時の内容

事業の目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の道路除雪及び除雪補完作業による交通確保。 ・中心市街地において、地域住民が協働で「雪またじ」に取り組める施設整備(消融雪側溝整備) ・冬の凍結による事故防止のため、急坂路や急カーブに消融雪施設の設置 				
事業実施の課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪計画や雪またじ方針に基づく住民と一体になった除雪体制づくり ・消融雪側溝の機能を発揮させるための安定した水量の確保 				
事業概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・市道除雪延長約1,000kmの実施委託料及び凍結防止対策としての薬剤購入 ・私道等の除雪実施のための除雪機購入費の補助 				
計画・実績・見込		H21実績	H22見込	H23計画
除雪延長(km)		998	1,003	1,003
消融雪側溝整備延長(km)		334	350	580
融雪装置設置箇所(箇所)		3	3	3
成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の市道について今まで以上に安定した交通確保 ・狭小道路の除雪の推進と地域協働の「雪またじ」の実施 ・定置式凍結防止剤自動散布装置設置箇所の増加による、凍結による危険箇所を減少、利用者の通行の不安の確保、安心・安全な交通環境を確保 				
要求額増減理由				
<ul style="list-style-type: none"> ・凍結防止剤自動散布装置箇所の増加に伴う薬剤購入費の増 ・消融雪側溝の施工路線延長増による増額 ・凍結防止剤自動散布装置設置に伴う用地確保のための土地購入費、用地丈量委託 				

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(8) 防災		
1 災害に強いまちをつくる		
1 雪害防止		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(8) 防災		
1 災害に強いまちをつくる		
1 雪害防止		
③事業評価		
事業名	除雪対策事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	冬季間における市民の安全・安心な暮らしを確保するため、除雪事業は非常に重要であり、市民からも除雪事業の充実に対して多くの要望がある。しかしながら除雪延長は900kmを超えており、市民の要望にそれぞれ対応することは非常に困難な状況である。そのため、除雪機購入助成制度の更なる周知などにより、市民との協働による除雪体制の構築を図る必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 高	成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要 流雪溝が本来の機能を発揮するためには、流水の確保が必要であり、良好な景観の形成も含めて、まちなかの側溝への効果的な流水について検討する必要がある。	
④市長の約束		
6 市民の生活と生命・財産を守ります。 雪またじを苦勞を軽減するため、流雪溝の整備を積極的に行います。		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	5	除雪対策費
事業名	72510		除雪事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	380	436	56	380	積算内容を精査 作成数同数のため、H22と同額	380	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他			0				
一般財源	380	436	56	380		380	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
冬期間の道路除雪の計画策定			
事業実施の課題			
事業概要			
高山市除雪計画の印刷			
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込
除雪計画作成(冊)		400	400
			H23計画
			400
成果			
<ul style="list-style-type: none"> 除雪作業に対する住民理解の向上 除雪路線が否か確認することが可能であり、また町内会長においても市民からの問い合わせ等、対応時の参考となる 			
要求額増減理由			

①総合計画		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
事業名	73100		河川草刈業務委託費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	13,460	13,430	△ 30	13,430	要求どおり	13,430	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	13,460	13,430	△ 30	13,430		13,430	
起債			0				
その他			0				
一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
1級河川沿いにおいて地元団体等で除草等を実施し恵まれた自然環境を保全する			
事業実施の課題			
事業概要			
1級河川の堤防沿い約338,000㎡の除草委託			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
除草面積(㎡)	338,000	338,000	338,000
成果			
河川の美化、景観保全			
要求額増減理由			

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1 恵まれた自然を守り活かす		
4 水と親しむ場の整備		
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1 恵まれた自然を守り活かす		
4 水と親しむ場の整備		
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
事業名	73105 河川清掃業務委託費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	4,000	4,000	0	4,000	要求どおり	4,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	起債		0				
	その他		0				
	一般財源	4,000	4,000	0	4,000		4,000

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
日常管理が困難な用排水路の暗渠部分の土砂を上げを行い、水路機能を維持し環境の保全を図る			
事業実施の課題			
管理が容易な開渠への改修を検討する			
事業概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・通常管理できない用排水路の暗渠部分の土砂上げ ・河川内のごみ等の収集 			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
成果			
水路を適正に維持管理をし、水路機能を維持する			
要求額増減理由			

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1	恵まれた自然を守り活かす	
4	水と親しむ場の整備	
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1	恵まれた自然を守り活かす	
4	水と親しむ場の整備	
③事業評価		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

事業別予算概要

一般会計

予算要求課	基盤整備部維持課	内線
-------	----------	----

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
事業名	73106		市街地河川美化業務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	1,600	1,600	0	1,600	要求どおり	1,600	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	起債		0				
	その他		0				
	一般財源	1,600	1,600	0	1,600		1,600

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
観光客の多い市街地周辺の河川清掃を行うことにより景観の向上を図る			
事業実施の課題			
事業概要			
<ul style="list-style-type: none"> 宮川・江名子川・苔川の清掃業務を地元河川を美しくする会へ委託 市民の手では困難な場所においては専門業者へ委託 			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
委託団体(団体)	3	3	3
成果			
市街地景観の向上			
要求額増減理由			

①総合計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1	恵まれた自然を守り活かす	
4	水と親しむ場の整備	
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(1) 自然		
1	恵まれた自然を守り活かす	
4	水と親しむ場の整備	
③事業評価		
事業名	除雪対策事業	今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2322
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
事業名	73110		普通河川占用許可事務費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		620	669	49	640	積算内容を精査	640	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	620	669	49				
	一般財源	0	0	0	640			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
河川管理、法定外公共物使用許可等の適正な処理を行う			
事業実施の課題			
法定外公共物の不正使用等に対する対策			
事業概要			
法定外公共物の使用申請・廃止届の受理、許可、使用料の徴収。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
法定外公共物許可件数			
・新規(随時)分 (件)	29	30	30
・更新分	217	182	80
成果			
河川管理、法定外公共物の使用許可・廃止届等の適正な処理			
要求額増減理由			

①総合計画		
②実施計画・中期財政計画		
③事業評価		
事業名	今後の方向性	
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
④市長の約束		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線 2326
-------	-----------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費
事業名	73115		普通河川整備事業					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	80,000	70,000	△ 10,000	70,000	要求どおり	70,000	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	起債		0				
	その他		0				
	一般財源	80,000	70,000	△ 10,000	70,000		70,000

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
普通河川の機能を十分発揮し河川環境の保全に努める			
事業実施の課題			
河川機能を維持するため、沿線土地所有者、利用者等との協力体制の確立			
事業概要			
普通河川の断面不足・老朽化等に伴う整備			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
普通河川整備工事(箇所数)	85	88	43
成果			
引き続き普通河川を整備することにより、流・排水の正常な機能の維持や河川環境が保全され、市民の安全・安心な環境が保たれる。			
要求額増減理由			

①総合計画		
(2)「すみよさ」のあるまちをめざして		
自然		
1	恵まれた自然を守り生かす	
4	水と親しむ場の整備	
②実施計画・中期財政計画		
3「すみよさ」のあるまちをめざして		
(8) 防災		
ハード		
普通河川整備事業		
③事業評価		
事業名	普通河川整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	水害による被害を抑えるためにも本事業は重要なものであるが、限られた予算の中で効果を上げるには対象箇所の優先度を決め、それに基づき整備を行う必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 中	成果 中
実施方針	「Ⅲ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
6 市民の生活と生命・財産を守ります		

予算要求課	基盤整備部 維持課	内線2322
-------	-----------	--------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	8	駐車場管理費
事業名	74800		駐車場管理費					

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出	20,774	65,197	44,423	39,773	要求内容の精査により、優先度・緊急度の高い施設について予算額を確保	39,773	財務部査定どおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
起債			0				
その他	20,774	65,197	44,423	39,773		39,773	
一般財源	0	0	0	0		0	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
・市営駐車場の維持管理			
事業実施の課題			
精算機をはじめとする駐車場に関する機器の更新期限の超過			
事業概要			
・市営駐車場の管理(指定管理者制度) ・修繕工事			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
市営駐車場(箇所)	9	9	9
成果			
<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が業務を代行することで、民間の手法を用いた効率的な駐車場運営が可能となる 精算機の故障による誤動作や、部品交換に伴う駐車場の一時閉鎖が回避され、安定した利用が提供できる 			
要求額増減理由			
・更新期限の超過している駐車場における機械部品改修及び、精算機更新の計画的執行(駐車場整備基金を利用)			

①総合計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
(3)道路・交通		
(1)便利で快適な道路環境を整備する		
④道路利用環境の向上		
②実施計画・中期財政計画		
(3)「すみよさ」のあるまちづくりをめざして		
道路・交通		
ハード		
駐車場維持修繕・改修事業		
③事業評価		
事業名	駐車場維持修繕・改修事業	今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針	実施・継続	
④市長の約束		